

6 特別支援学校

(1) 学校数

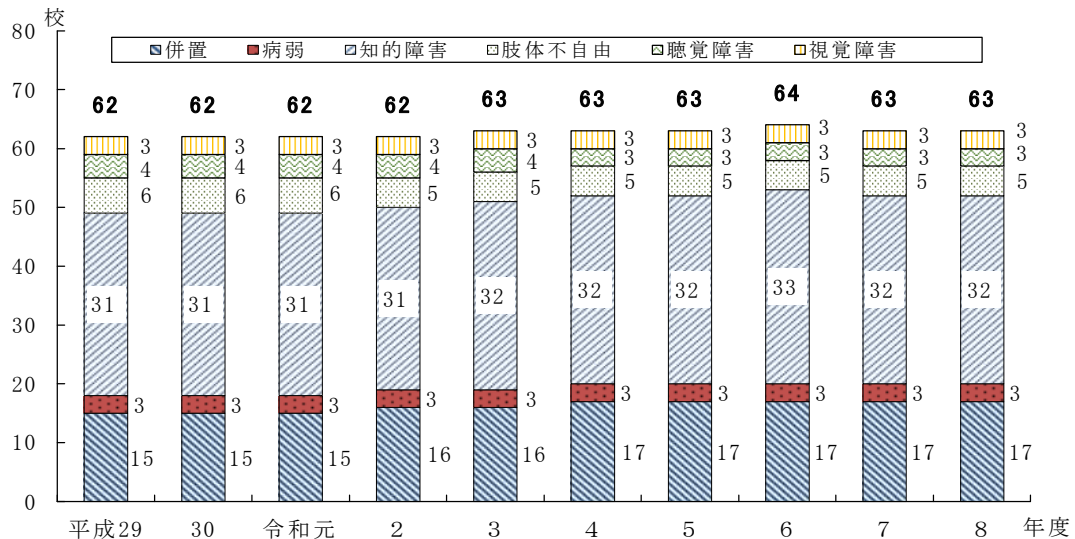
学校数は、63 校（都立 58 校、区立 5 校）で、前年度と同数である。

学校数のうち障害種別を複数設置している併置校は 17 校（肢体不自由・知的障害併置校 10 校、肢体不自由・病弱併置校 4 校、視覚障害・知的障害併置校 1 校、知的障害・病弱併置校 1 校、聴覚障害・知的障害併置校 1 校）となっている。

併置校以外の学校数を障害種別で見ると、視覚障害 3 校、聴覚障害 3 校、肢体不自由 5 校、知的障害 32 校、病弱 3 校となっている。

（Ⅲ統計表 第 31 表）

図 27 学校数の推移



注 1) 区立 5 校の障害種別は、肢体不自由 1 校、知的障害 1 校、病弱 3 校となっている。

2) 併置校は全て都立である。

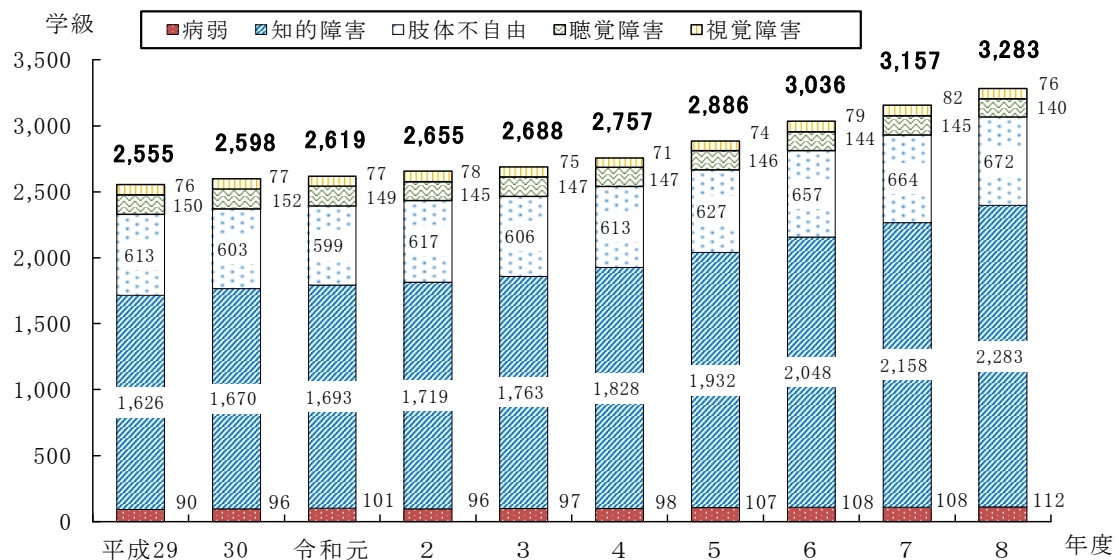
(2) 学級数

学級数は 3,283 学級で、前年度より 126 学級増加している。

障害種別で見ると、視覚障害 76 学級、聴覚障害 140 学級、肢体不自由 672 学級（都立 658 学級、区立 14 学級）、知的障害 2,283 学級（都立 2,238 学級、区立 45 学級）、病弱 112 学級（都立 97 学級、区立 15 学級）となっている。

（Ⅲ統計表 第 31 表）

図 28 学級数の推移



(3) 在学者数

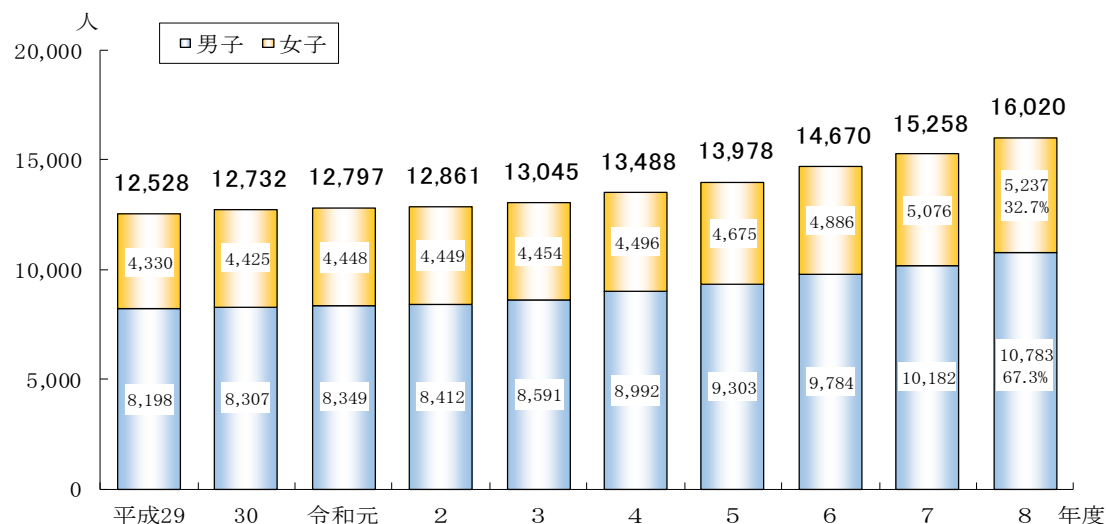
在学者数は16,020人で、前年度より762人増加している。

障害種別で見ると、視覚障害186人、聴覚障害565人、肢体不自由2,151人（都立2,119人、区立32人）、知的障害12,894人（都立12,676人、区立218人）、病弱224人（都立170人、区立54人）となっている。

男女別で見ると、男子10,783人（構成比67.3%）、女子5,237人（構成比32.7%）で、前年度と比べて、男子の構成比が0.6ポイント増加、女子の構成比が0.6ポイント減少している。

（Ⅲ統計表 第31表）

図29 在学者数及び男女別割合の推移



(4) 教員数

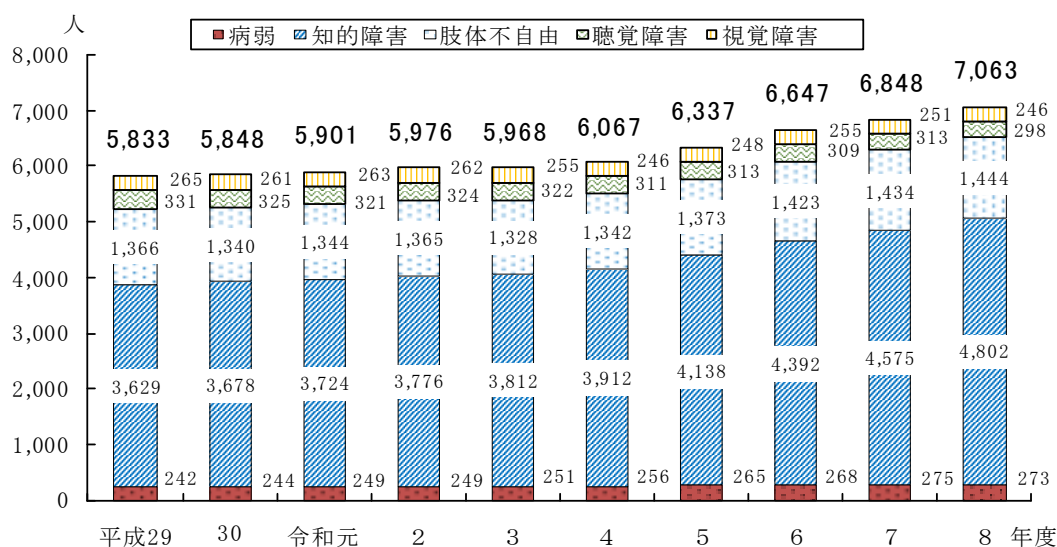
教員数は、7,063人で、前年度より215人増加している。

障害種別で見ると、視覚障害246人、聴覚障害298人、肢体不自由1,444人（都立1,407人、区立37人）、知的障害4,802人（都立4,719人、区立83人）、病弱273人（都立207人、区立66人）となっている。

男女別で見ると、男性2,823人（構成比40.0%）、女性4,240人（構成比60.0%）で、前年度と比べて、男性の構成比が0.3ポイント減少、女性の構成比が0.3ポイント増加している。

（Ⅲ統計表 第32表）

図30 教員数の推移



注) 教員数は、臨時的任用教員を含む。

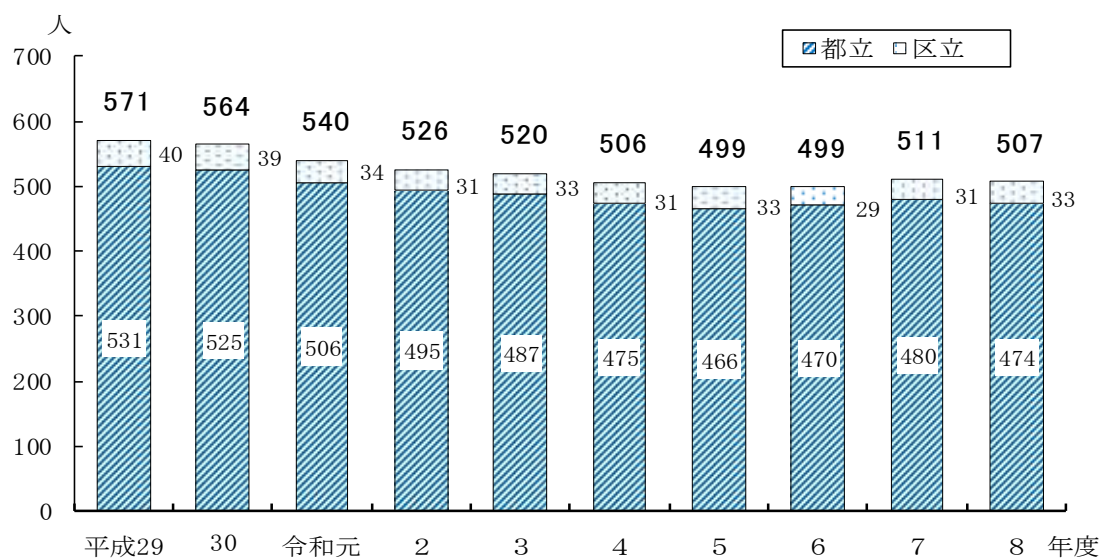
(5) 職員数

職員数は、507 人（都立 474 人、区立 33 人）で、前年度より 4 人減少している。

男女別で見ると、男性 206 人（構成比 40.6%）、女性 301 人（構成比 59.4%）で、前年度と比べて、男性の構成比が 0.5 ポイント増加、女性の構成比が 0.5 ポイント減少している。

（Ⅲ統計表 第 33 表）

図 31 職員数の推移



注) 職員数は、臨時的任用職員を含む。

図 32 職員の職名別割合

